「鹿島神社の宝物」

調べたこと

(1) 大蛇の牙

(2)雨乞いの壺

分かったこと

ーつ目 大蛇の牙の長さは、 約手のひらサイ ズー

二つめ 大蛇の長さは、 牙の大きさから、 百メートル以上ある!!



だけど鹿島神社には、大きな木はなかった。!!

だから牙はちがう生き物 の牙かもしれない ある海の生き物かもしれ ない!!

雨乞いの壺のことで分 かったことは

四一

一つ目は、 雨乞いの壺は村人が 一生懸命土を掘って 働いている時に!

カチンと音がして何 かがくわ先に当たっ た

不思議に思って、ていねいに掘っていてと...



なんと高さ三十センチほど!!





二つ目は、この壺は鹿 島大明神の神様がさずけ てくれたもので非常にと おとい壺である!!

三つ目に分かった ことは五十年ほど たったあとその年

雨が降らなかったため 雨乞いの壺を使っ た!

壺の力を使い 雨が降った!

村人たちは喜んだ!!



ぼくがびっくりし たのは、雨は激し くなり止まなかっ たということ!!

そのため村人たちは、逃げがたた!

四つ目に分かったことは、この壺が見つとは、この壺が見つかったのは830年前!!

愛知県で 作られた物!

今でも鹿島神社の宝物として大切に伝えられている!!



この学習をして僕が考えたことは、

① 鹿島神社は伝説の多い神社だ。

② これからもこの宝物がみんなに 知ってもらえるようにくわしいポ スターを作って宝物を紹介したい。

これで発表を終 わります。

